

雪国に住む
誇りと心構えを

「最低限のルールを守って」

●道路が除排雪されてきれいになると、自宅敷地内の雪を道路に出す家庭が多く見られます。このような自分勝手な行為はやめるべきです。

(北区・黒龍悠紀枝さん・66歳)



●違法駐車を取り締まりを強化してください。病院通いをしていますが、歩きづらくて困っています。

(西区・60代・女性)

冬の札幌4つのルール

- 1 玄関前の雪処理はご家庭で
市の除雪は、雪を両脇にかき分ける方法のため、除雪後の玄関・車庫前の雪処理は各家庭でお願いします。
- 2 除雪の妨げになる
路上駐車はやめましょう
除雪作業ができないだけでなく、救急車や消防車の通行の妨げや近所迷惑にもなります。
- 3 道路への雪出しは
やめましょう
道幅が狭くなったり、でこぼこになったりして、交通渋滞や事故の原因になります。
- 4 ごみ出しはルールを守って
除雪が終わる前にごみを出すと、ごみの混じった雪が排雪されて、河川を汚す原因になります。



「意識の改善を」

●車を利用する方は、バスを利用して車の流れをスムーズにする努力をしてほしいです。

(白石区・20代・女性)

冬は
渋滞知らずの
地下鉄を
利用してね!



●雪国に住むわたしたちは、一人一人が除雪の達人になるべきです。町内にいる達人たちを見習いたいものですね。

(東区・和田範子さん・45歳)

●わたしたち一人一人が少しでも通りやすい道をつくるよう心掛けねばと思いました。みんなで除雪!

(北区・中出恵子さん・26歳)

たくさんのアイデアが
寄せられました

●積雪が十センチを超えた朝は、出勤時間を一時間遅らせて、地域みんなで雪かきを行う「スノータイム」を導入してほしいかがでしょうか。

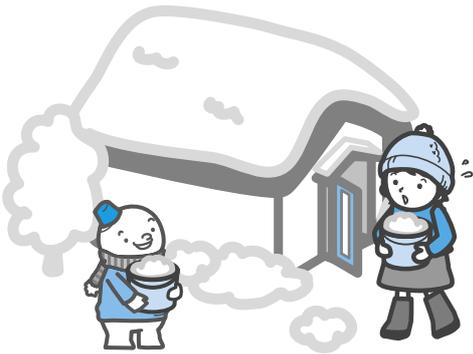
(豊平区・岸浪朋子さん・30歳)

●町内会に一つは、雪置き場としての空き地をつくるなどして、除雪の労を分散させていくことが必要だと思います。

(豊平区・30代・男性)

●家の前の雪を一日バケツ一杯分、各家庭で溶かし、その水をトイレで使ってみてはどうでしょうか。

(厚別区・30代・女性)



「地域と創る冬みち事業」から
新しいアイデアを实践!

昨年11月号で紹介した「地域と創る冬みち事業」。地域の方と除雪事業者、市の職員が活発な意見を交わした結果、地域の除排雪について、新しいアイデアがたくさん生まれました。この冬、そのアイデアを实践します。

一例を紹介

- 市の職員と一緒に「携帯用砂入りペットボトル」を作製。地域の方が砂をまきます。
- 地域の方が下水道マンホールの上に雪をかぶせ、道路との段差を解消します。



排雪見学会を開催

運搬排雪作業を解説付きで間近で見学できます。北海道開発局(札幌開発建設部)との共同開催です。
日時 2月4日(日)、5日(月)。午後8時～8時30分。
会場 中央区大通西11周辺。
申し込み不要。当日午後8時に、地下鉄東西線西11丁目駅1番出口集合。
悪天時は中止。



↑ 昨年は200人以上の方が見学

翌朝の雪かきの必要性を4段階でお知らせする「雪かき指数」をはじめ、雪たい積場や冬のレジャーの情報も満載のホームページ

www.city.sapporo.jp/kensetsu/yuki

